

福祉人材育成センターの紹介



運営について

- 所在地：調布市布田5-46-1 調布市こころの健康支援センター内
- 運営：社会福祉法人 調布市社会福祉協議会
- 職員：4人（正職員2人、嘱託職員2人）
- その他：福祉人材育成センター運営委員会を設置（年3～4回）

※学識経験者、関係機関、各ネットワークの代表、当事者を委員とする
運営委員会を設置・開催し、事業運営等についての意見交換を行う

～市内在勤・在住の福祉職や市民の学びを支える～

直接支援するのではなく、学びや気づきを提供し、間接的に支える立場

社協が人材センターを運営する利点

地域の人材を育てるという 社協のミッション

- ・ 安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域の人材を育成する社協のベーシックな役割とマッチしている。

中立的な立場

- ・ 高齢、障害、児童など様々な事業を展開。偏ることなく、地域の人材育成という視点を持てる。

社協が人材センターを運営する利点

多彩なフィールドを持つ

- ・ 介護、障害（身体、知的、精神、発達）、子ども・若者、地域、生活困窮者などの支援のフィールドを持っている

事業所・当事者との 信頼関係

- ・ 社協が長年培ってきた障害当事者や事業所の関係と経験が強み。

育成

福祉で働く
人を増やす
～福祉人材の育成～

資格研修

〔主に高齢者福祉で役立つ資格〕

- 介護職員初任者研修

〔主に障がい者福祉で役立つ資格〕

- 同行援護従業者養成研修
- 重度訪問介護従業者養成研修
- 知的障害者移動支援従業者養成研修
- 行動援護従業者養成研修
- 医療的ケア支援者養成研修（特定の者）
- 医療的ケア児等支援技術向上研修



各資格研修の
説明動画



就労支援

- 福祉のしごと相談・面接会



育成

福祉で働く
力をつける
～専門性の向上～

階層別研修

- 福祉職としての経験年数や階層に応じた研修

専門研修

- 福祉従事者としての専門性の向上を目指すテーマ研修



発信

福祉に関心を持
つ人を増やす
～普及啓発～

- HPや広報紙を用いた情報発信（研修、イベント、求人情報など）
- 福祉人材育成センターの紹介動画配信（調布社協YouTube、人材HP）



調布の福祉で 活躍する人を育てる

連携

支え合い・
働き続ける
～ネットワーク
形成～

- ちょうふ福祉実践フォーラム
分野や事業所の垣根を超え、
職員同士がお互いの実践を
学びあう機会



育成

福祉で働く
人を増やす

～福祉人材の育成～



資格研修

〔主に高齢者福祉で役立つ資格〕

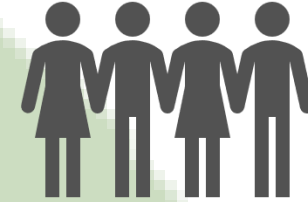
- 介護職員初任者研修

〔主に障がい者福祉で役立つ資格〕

- 同行援護従業者養成研修
- 重度訪問介護従業者養成研修
- 知的障害者移動支援従業者養成研修
- 行動援護従業者養成研修
- 医療的ケア支援者養成研修（特定の者）
- 医療的ケア児等支援技術向上研修

就労支援

- 福祉のしごと相談・面接会



福祉人材の養成（資格研修）

6つの入門的な資格研修を実施

同行援護

重度訪問
介護

知的障害者
移動支援

介護職員
初任者

行動援護

医療的ケア
(特定の者)

福祉人材の養成（資格研修イメージ）

介護職員初任者



医療的ケア（特定の者）

同行援護



福祉人材の養成 (就労支援)

福祉のしごと 相談・面接会の開催

調布市

福祉のしごと 相談・面接会

無資格・未経験者
大歓迎!

調布市協キャラクター
ちょビット

調布市内の高齢者・障がい者分野で働ける求人があります。
正職員、パートタイムなど雇用スタイルも様々です。

日時 令和6年 **11月23日** 土
14:00~16:00 [受付開始 13:30 受付終了 15:30]

会場 調布市こころの健康
支援センター2階

- 申込不要
- 参加無料
- 入退場自由
- 服装自由
- 履歴書不要

【プログラム①】法人PR動画配信 ※配信は11月初旬頃予定

出展法人によるPR動画を調布市福祉人材育成センターホームページにて期間限定で公開します。当日も上映します。

調布市福祉人材
育成センター
ホームページ

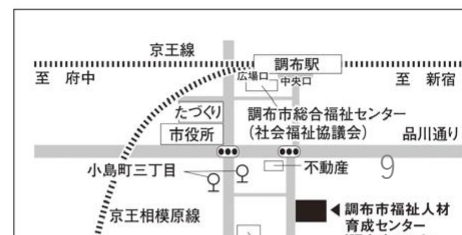


調布社協
YouTubeチャンネル



【プログラム②】相談・面接会

参加方法 直接会場へお越しください。



育成

福祉で働く
力をつける
～専門性の向上～

階層別研修

- 福祉職としての経験年数や階層に応じた研修

専門研修

- 福祉従事者としての専門性の向上を目指すテーマ研修



専門性の向上

〈階層別研修〉

初任者

- 講義編
- マナー編

中堅

- 講義編
- SST編

チームリーダー

- 講義編

管理職・施設長

- 講義編

専門性の向上 <テーマ別研修>

令和5年度 調布市社会福祉協議会 調布市福祉人材育成センター研修

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です

専門研修(オンデマンド配信)のご案内【5～7月】

市内の福祉職のスキルアップを目指した専門研修です。

講師の方々のご協力により、昨年度に実施した研修の配信と、過去に配信した研修の再配信ができることになりました。新たな学びを得たり、学びを深めたりするためにご活用ください。

<対象> 市内在勤の福祉職。お一人、何講座でもお申込みいただけます。

<配信期間> 5/15(月)～7/7(金)

<申込み> 右記QRコードからお申込みください。配信期間になりましたら、URLをお送りいたしますので、アクセスしてご視聴ください。申込み後1週間以内に事務局から連絡がない場合、お手数ですが福祉人材育成センターにご連絡ください。

<申込期間> 5/8(月)～7/6(木)



申込フォーム
QRコード

①		福祉職が知っておきたい発達障がい・てんかんの薬 中川栄二氏 (国立精神・神経医療研究センター) 120分
②		障害福祉サービス事業所対象BCP策定研修 小島秀人氏 (障害福祉課) 180分
③		計画相談支援研修(加算編) 小島秀人氏 (障害福祉課) 100分
④		福祉職の学びのススメ～実践研究のすすめ～ 山本雅章氏 (調布市社会福祉事業団)
⑤		<障害の理解>～障害を考える視点～ 山本雅章氏 (調布市社会福祉事業団)
⑥		ケアの眼差しとは何か～ケア実践の根本問題を考える～ 結城俊哉氏 (立教大学)
⑦		尊厳の保持と自立支援 結城俊哉氏 (立教大学)
⑧		福祉実践の担い手として学ぶということ 結城俊哉氏 (立教大学)
⑨		福祉職としてのコミュニケーションの基本 中島悦子氏 (調布市社会福祉事業団)
⑩		知的障害のある人への支援 伊藤巧氏 (調布市社会福祉事業団)

⑪		高齢者をエンパワメントするソーシャルワーク 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)
⑫		誰も孤立しない地域をつくるために～福祉職ができること～ 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)
⑬		発達障害者支援の基本 新井豊吉氏 (東京家政大学)
⑭		障がい者の家族支援～きょうだいの困難、生きづらさについて考える～ 新井豊吉氏 (東京家政大学)
⑮		発達障がいになる子どもの家族支援 井上雅彦氏 (鳥取大学医学系研究科) 2021年12月2日(木) 10時～12時 Zoom配信
⑯		コミュニティ・オーガナイズを学ぶ 室田信一氏 (東京都立大学)
⑰		改めて自己決定について考える～自己決定の落とし穴～ 稲沢公一氏 (東洋大学)
⑱		エンパワメントのパラドックス 稲沢公一氏 (東洋大学)
⑲		わかりやすいSST 清水有香氏 (SST普及協会)
⑳		知的障がいがある人の認知症 木下大生氏 (武蔵野大学)
㉑		罪を犯した知的障がい者の支援 木下大生氏 (武蔵野大学)
㉒		多様な人たちが生きていける社会とは～新型コロナウイルスを手がかりに～ 平野方紹氏 (立教大学)
㉓		強い組織をつくる～人材育成と組織の継承～ 天野聖子 (元・多摩棕櫚亭協会)
㉔		医療的ケアって大変なことなの？ 下川和洋氏 (地域ケアさぼーと研究所)
㉕		高齢者の生活を支援するために～高齢者と家族の心理的理解～ 小幡真也氏 (フロリール調布)
㉖		高齢者の自立を支援するために～介護予防の視点～ 小幡真也氏 (フロリール調布)
㉗		ジェンダー平等と包括的性教育 浅井春夫氏 (立教大学)

オンデマンド配信も実施

連携

支え合い・
働き続ける
～ネットワーク
形成～

- ちょうふ福祉実践フォーラム
分野や事業所の垣根を超え、
職員同士がお互いの実践を
学びあう機会



ネットワーク形成

ちょうふ福祉実践フォーラム

第8回ちょうふ福祉実践フォーラム
元気が出る福祉!!
～大川総裁の『笑福連携』って何!?～
2月16日(日)
午後1時～5時(開場12時40分)
調布市こころの健康支援センター2階
調布市布田5-46-1
対象:市内福祉職
※障害福祉サービスの家賃補助対象事業

【申込期間】
～2月12日(水)まで
定員:先着50人
【申込専用フォーム】

(<https://forms.gle/QPPKVHMUVttM2KyF9>)

無料

大川豊
(おおかわ・ゆたか)

【プロフィール】
大川興業総裁。
1962年東京都生まれ。
明治大学在学中にお笑い集団「大川興業」を結成。就職試験で153社不合格となり、1985年大川興業株式会社を設立。芸人と同時にプロデューサーとして1990年から若手芸人育成のためのライブ「すっことどここい」を毎月開催し、多くの芸人を輩出。政治経済のネタを得意とし、国内外で取材を行う。近年は福祉、医療の現場にも赴き、その活動は多岐にわたる。総裁記者会見にも参加している。幅広い人脈を活かし、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などの復興支援活動も行う。著作に『大川総裁の福祉論!』(旬報社)『金なら返せん!』(日本インディーズ模倣列伝)(扶桑社)他。

【基調講演トークテーマ(予定)】
①大川総裁が福祉に関心を持ったきっかけ ②「笑福連携」って何? ③長年に渡る活動の原動力は?
④福祉のどこに面白さを感じているの? ⑤障害をネタにすることや差別・偏見についての考え など…

【第8回ちょうふ福祉実践フォーラムのねらい】
現在、福祉業界では人材確保や人材育成、多様化する利用者の支援など、日々の業務において様々な悩みや課題を抱えているという声を多く耳にします。
また、リスク対応や周囲の反応など配慮すべきことが多く、知らず知らずのうちに決まった枠の中で働く習慣が身についてしまい、新たな挑戦や探求心、やりがいを持って仕事を楽しむことが難しいと感じている方も少なくないかもしれません。
ちょうふ福祉実践フォーラムでは、多くの福祉実践現場の取材を続けてきた大川総裁をゲストに招き、これまでの体験談や『笑福連携』の価値観について学び、分野や事業所の垣根を越えた福祉職どうしの対話の中から、明日の私たちが楽しく働くためのヒントやコツを見つけます。

ちょうふ福祉実践フォーラムの開催
【令和6年度】
日にち:令和7年2月16日(日)
「元気が出る福祉!!」
～大川総裁の『笑福連携』って何!?

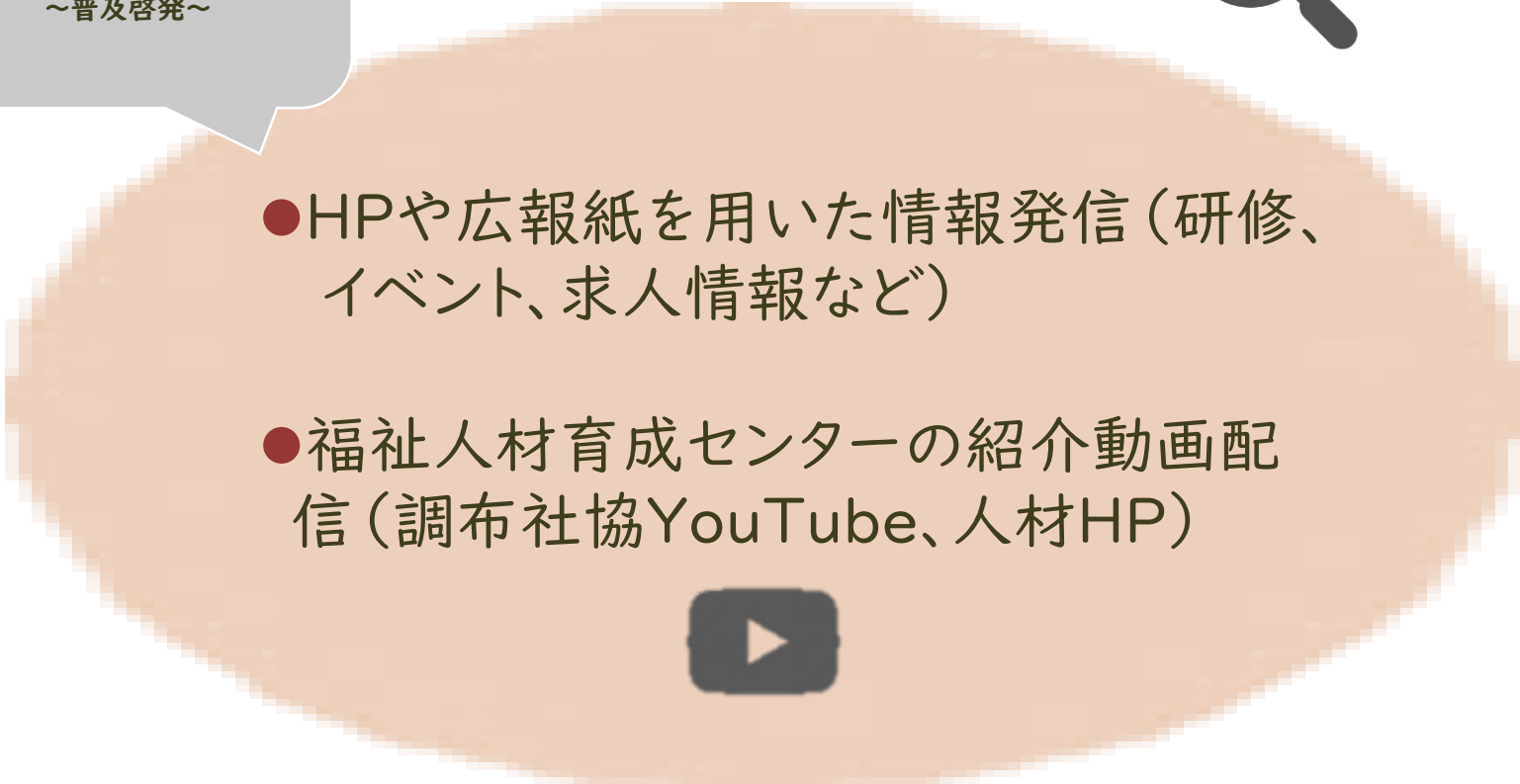


発信



福祉に関心を
持つ人を増やす
～普及啓発～



- 
- HPや広報紙を用いた情報発信（研修、イベント、求人情報など）
 - 福祉人材育成センターの紹介動画配信（調布社協YouTube、人材HP）



市民参入に向けた普及啓発

ふくしの窓、市報、
ホームページで

●<求人情報>
●<研修案内>を掲載



市民参入に向けた普及啓発

ヒューマンライブラリーの開催

※ヒューマンライブラリーとは

人を「本」に見立て、少人数の対話で互いの理解を深めるイベント



令和6年度ちょうふ福祉
ヒューマンライブラリー
～題名だけじゃわからない“生きている本”～
2月22日(土) 午後2時～5時※1時45分開場
会場:調布市こころの健康支援センター 2階

ヒューマンライブラリー (Human Library) とは
人を『本』に見立てて『読者』に貸し出す図書館です。障がいや生きにくさのある方が経験や想いを物語のように語り、少人数で対話することで理解を深めることができます。
①司書・本・読者役がいること ②図書館の仕組みそのまま
③読書時間は対話時間 ④予備知識不要 誰でも気軽に参加することのできるイベントです!



【対象】
調布市在住、在勤または
在学で福祉に興味の
ある方

【定員】
本1冊につき3名程度
(先着順)

【申込方法】右記、2次元コードよりお申込ください。
【申込期間】1月20日(月)～2月7日(金)
定員に達したら受付終了します。ホームページで受付終了をお知らせします。



詳しくは裏面のブックリストをご覧ください。



ご清聴ありがとうございました